



かたくり

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく



令和5年度
第52号

2023. 12. 20

「北浦音頭」

19日（火）に、西明寺婦人会の皆様においでいただき、全校で『北浦音頭』の練習をしました。どうしてこの時期に『北浦音頭』の練習？…と思われる方もいらっしゃると思います。理由は、来年度の運動会で踊る予定だからです。

これまで、運動会では『ニュー西木音頭』を踊っていました。そして、保護者の皆様や地域の方々へも参加を呼びかけていましたが、テンポが速いせいなのか、それとも比較的新しい曲なので踊り方がわからないからなのか、参加して一緒に踊ってくださる方は婦人会の皆様くらいで、他にはほとんどいないというのが現状でした。そこで、来年度は、テンポもゆっくりで、たくさんの方が踊り方を知っている『北浦音頭』を踊ろうということになりました。

けれども、子どもたちにとっては初めての曲なので、いつも通りの4月の練習1回だけでは厳しいだろうということで、12月、2月、4月の3回、練習することになったというわけです。

今回が1回目の練習でしたが、実は、4月の『ニュー西木音頭』の練習時に、1度だけ『北浦音頭』を踊らせていただいていたので、子どもたちは、とても上手に踊ることができていました。来年度の運動会で、子どもたちが、保護者の皆様や地域の方々と一緒に踊っている姿が、今からとても楽しみです。

婦人会の皆様、ご指導ありがとうございました。2回目以降も、よろしくお願いいたします。（※婦人会の皆様からは『北浦音頭』の振り付けだけでなく、『北浦音頭』を作られた方が西明寺小の校長だったことなど『北浦音頭』に関する歴史やトピックなども教えていただきました。以下に簡単にまとめてみましたので、ご覧ください。）



『北浦音頭』は仙北市の防災行政無線チャイムの曲目になっている

- ・田沢湖地区・角館地区・西木地区の各地区において、曲目が異なっている。西木地区は7時・正午に「北浦音頭（ただし7時は短縮ver）」、17時に「夕焼け小焼け」が使われている。

『北浦音頭』を作ったのは才田正庸さん

- ・才田正庸さんは、西明寺小の第17代（昭和25～26年度）及び第21代（昭和38～42年度）校長。※ちなみに現校長で42代
- ・作ったのは西明寺中校長時代の昭和31年（合併による西木村誕生の年）らしい。
- ・日本コロムビアPR盤レコードリスト（戦後の日本コロムビアから発売されたレコードのうち、レコード番号が「PR」「SPR」ではじまる主に地方の音頭・小唄やPRソング、企業の社歌や校歌などを収めたレコードのリスト）には、『北浦音頭；唄・演者・作詞・作曲：才田正庸、伴奏：工藤尚、佐藤充、西明寺中学校やまばとコーラス』とあり、レコード化されている。当時の西明寺中校長が自ら歌い、西明寺中学生徒もコーラスで参加している。
- ・才田正庸さんは、『北浦音頭』だけでなく、西木村民歌や桧木内小・桧木内中・白岩小・太田北小の校歌なども作詞作曲している。

「5年紙漉き体験」

19日（火）に、5年生がかたくり館で、西木町小山田の鎌足地区に伝わる「鎌足和紙」の紙漉き体験をしました。講師の方々からアドバイスをいただきながらの挑戦。初めは大変そうでしたが、次第にコツをつかみ、楽しく体験することができたようです。

「鎌足和紙」は、虫食いのないまま200年以上を経た佐竹北家の「花葉集」（佐竹義文が植物を押し花にまとめたもの）に用いられており、鎌足和紙を使ったから虫に食われなかったと言われていいます。明治時代に「鎌足和紙」の作り手が途絶えましたが、地域の方々の活動により復活しました。調べてみたら、現在「鎌足和紙」は、かたくり館以外でも『鎌足和紙の押し花フレーム』などいろいろなところで活用されているようです。詳しくは、下記URLより秋田県体験型コンテンツのHPをご覧ください。



『鎌足和紙の押し花フレーム』

『鎌足和紙の押し花フレーム』 https://www.akita-tourism.com/experience/ja/detail_059.html

「自分で漉いた鎌足和紙」は、このあと、図工の時間に、自作の和紙に絵を描いて、かたくり館にお届けする予定です。

手作りのあたたかみと伝統の技の凄さの体験を通して、子どもたちは、地域のよさや伝統のすばらしさ、それを継承する大変さといったものを考えることができました。ご指導、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



「6年スペシャル給食」

19日（火）に、6年生でスペシャル給食が実施されました。これは、毎年卒業学年を対象に、学校生活の楽しい思い出の1つとして友達との食事を楽しみ、その中で、食に関する理解を深めたり、協働したりすることなどをねらいとして、給食センターが行っている活動です。

令和元年度までは、バイキング給食という形式で行われていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の観点から、令和2年度からは献立を豪華にしたスペシャル給食として実施されています。

当日の通常献立（ごはん、ささみフライ、カレーソテー、もずくのすまし汁）に、6年生には、セレクトドリンク（カフェオレ、りんごジュース、緑茶から選ぶ）とセレクトミニケーキ（レアチーズ、ショコラ、練乳イチゴから選ぶ）、フライドチキン、たこ焼きが付きました。

いつもより多いメニューに大喜びの子どもたち。会話も弾み、最後は全員が完食し、残食ゼロ。同席し一緒に食べてくださった栄養教諭のお二人も、とても喜んでくださっていました。

